令和5年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 企画調整係員
氏名: 荒木　秀典

受入課室等名	研究開発局　地震・防災研究課
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　○ 短期大学　○ 高等専門学校　○ 専門学校 ○ 高等専修学校　○ 高等学校　　中学校　　問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）
受入時期 受入期間	2月19日（月）　～　3月15日（金） 2週間 受入人数（受入時期内の合計受入数）：1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　　 予定なし　○
受入条件	地震・火山・防災研究の振興に関する行政に興味のある学生 （専門的な知識や技術は必須ではありません）
実習内容	各係から具体的な業務内容を紹介した上で、 ●各係の政策課題について担当者とディスカッション ・「地震、火山研究を盛んにするにはどうすればよいか？」 ・「地震、火山・防災の研究にブレークスルーをどのように起こすか？」 ・「どうすれば、自然災害や防災に関する研究成果を国民に広く還元できるか？」 ・「次世代の地震、火山研究者を育てるには？」 など ●各種会議の開催準備、傍聴 ●地震・火山・防災研究の課題解決に資する施策の検討 （テーマは上記の実習を踏まえ、興味に応じて設定） などに取り組み、最終日にインターンシップで学んだことや検討した施策について発表してもらいます。
受入課室等紹介	【今、火山がアツい！火山調査研究推進本部が設置されます！】 地震・防災研究課では自然災害による被害の軽減を目指した研究開発や、次世代の研究者育成を推進しています。 《施策例》 【ビッグプロジェクト】 南海トラフ地震に備えて、高知県沖～日向灘にかけて海底地震津波観測網（N-net）を敷設 【防災科学技術に関する研究開発の推進】 国立研究開発法人防災科学技術研究所において、実大三次元震動破壊実験施設（E-ディフェンス）等を利用した防災科学技術研究を推進 【情報学×地震学】 AIやビッグデータを活用した新たな地震研究の推進（STAR-Eプロジェクト） 【地震・火山調査研究の一元的推進】 地震調査研究推進本部の運営 ″特別の機関″である火山調査研究推進本部の設置（令和6年4月設置） 【次世代の研究者育成】 最先端の火山研究と連携させた体系的な教育プログラムを提供（次世代火山研究・人材育成プロジェクト） 当課には、研究機関や気象庁、国土地理院などから出向している職員が多く在籍しています。様々なバックグラウンドを持つ職員がそれぞれの専門分野を活かしながら、日々刺激しあって楽しく働いています！
受入課室等からのひと言	地震や火山の研究は非常に多くの分野が組み合わさって発展してきました。自分の専門や興味に関わらず 門戸をたたいてみると思わぬ発見があるかも！？ 一緒に地震や火山の世界を行政の視点から覗いてみましょう！

令和5年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 総括係長、係員
氏名: 小林寛和、緒方僚輝

受入課室等名	研究開発局海洋地球課
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　□ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）
受入時期 受入期間	2月19日（月）　～　3月22日（金） 2週間（上記日程の内） 受入人数（受入時期内の合計受入数）：1人
選考時の面接の実施予定	予定あり □ 予定なし ○
受入条件	海洋科学について興味関心をお持ちの方やグローバルな視点での政策提案を体験してみたい方を歓迎いたします。なお、Word・Excel・PowerPointなど、パソコンの基本操作ができることが望ましいです（専門知識や技術は必要ありません）。
実習内容	参加いただいた実習生の方には、期間中、「今後の海洋科学技術はどうあるべきか」について、考えていただきます。 日本は四方を海に囲まれた海洋国家であり、私たちは海からたくさんの恵みを得ながら社会生活を営んでいますが、その一方で、海洋汚染や異常気象など、様々な課題にも直面しています。海洋の価値を最大化しながら、海が抱える現代的な課題に対応していくために、「科学技術」が貢献できることは何か、海洋地球課の職員や研究機関の研究者から直接話を聞いていただきながら、検討を深めていただきます。 最終日には、海洋地球課職員に対して、文部科学省として今後取り組むべき方向性や対応について発表していただきます。忌憚のない、学生ならではの提案をお聞かせください！ ＜これまでの実習生の発表テーマ例＞ ○「カーボンニュートラル2050」に向けて「海洋研究」がいかに貢献し得るか ○我が国が「海洋資源」を確保するために必要な方策 ○「海洋研究者」育成プロジェクト ○海洋プラスチック問題の現状と今後 ○北極海航路の活用による環境変動の評価 ※海洋が専門でなくても、こうしたテーマで発表できるよう期間中にしっかりサポートします！
受入課室等紹介	海洋地球課では、海洋研究開発機構（JAMSTEC）のほか、国立極地研究所や大学、国外の研究機関、関係省庁等と連携しながら、海洋・極域分野における研究開発を推進するための業務に従事しています。 研究機関や大学、他省庁の職員など、外部からの出向者が多く、人材の多様性に富んでいることも特徴です。これまでの参加者からも、文科省職員に限らず、「海」に関わる様々な方々との交流を通じて、多くの学びを得たとの話を伺っています。
受入課室等からのひと言	「環境問題」に興味のある方、「海」が好きな方、科学技術による社会課題への貢献に関心がある方など、幅広い方の参加を募集しています。ぜひご応募ください！

令和5年度春期文部科学省インターンシップ受入計画

指導担当者役職：係員
氏名：安澤葉介

受入課室等名	研究開発局　原子力課				
募集学校種	□大学院　□大学　□短期大学　□高等専門学校　□専門学校 □高等専修学校　□高等学校　□中学校　○問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）				
受入時期 受入期間	2月19日（月）　～　3月22日（金） 2週間			受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○				
受入条件	ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができること （専門的な知識や技術は必要なし）				
実習内容	【原子力課各係の業務補助を通じた行政実務の経験】 ・基礎資料の作成、データ修正、集計及び分析 ・委員会・作業部会の準備、運営補助及び傍聴 ※具体的な実習内容については、参加者の興味関心、希望等を考慮して計画する。				
受入課室等紹介	原子力課では、国として戦略的に重要な原子力の研究開発を実施しています。 ○原子力災害からの復興を加速させるために、廃止措置・除染等の必要な研究開発を推進しています。 ○研究機関や大学におけるシビアアクシデント研究等の原子力安全確保等に貢献する基礎基盤研究・人材育成の取組を推進しています。 ○放射性廃棄物の減容化・処理処分の研究開発を推進しています。 ○高速炉の実証技術の確立に向けた研究開発を推進しています。 ○日本原子力研究開発機構を所管し、その運営に携わっています。				
受入課室等からのひと言	原子力に関する政策に興味・関心をお持ちの方の参加を心よりお待ちしています！				

令和5年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 総括係員
氏名: 鯉住　拓未

受入課室等名	研究開発局　環境エネルギー課				
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　□ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）				
受入時期 受入期間	3月4日（月）　～　3月15日（金） 2週間			受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり □ 予定なし ○				
受入条件	気候変動問題やカーボンニュートラル実現について興味関心をお持ちの方や、文部科学省の業務を体験してみたい方を歓迎しています。Word,Excel,Powerpoint等、パソコンの基本操作ができることが望ましいです。（専門知識や技術は必要ありません。）				
実習内容	【環境エネルギー課の行政事務の経験】 ○環境エネルギー課内 各係の業務体験 ○会議の準備、運営補助及び傍聴 ○環境問題に対する情報収集、職員との意見交換 ○職員へのインタビュー、関連施設の見学 等、業務の状況によって変動する可能性はありますが、 その他、参加者の方の希望を考慮して計画いたします。 興味・関心がある業務や分野がございましたら、志望業務欄にご記入ください。				
受入課室等紹介	文部科学省では、地球温暖化による気候変動問題を解決するため、持続的な発展を可能とする「脱炭素社会」への転換を目指した研究開発を推進しています。 具体的には ○気候変動の予測結果を活用する技術等の研究開発 ○省エネルギー社会実現のための次世代半導体の実用化に向けた分野横断的な知見の創出 ○革新的なグリーントランスフォーメーション（GX）を実現するための水素、蓄電池、バイオものづくりにおけるシーズの創出 ○大学の「知の拠点」として機能を活用し、カーボンニュートラル実現に向けた分野横断的な知見の創出等、大学、研究開発法人、企業等の地球温暖化対策の第一線で活躍している研究者とともに、様々な環境エネルギー科学技術の研究開発に取り組んでいます。				
受入課室等からのひと言	環境問題に関心のある人はもちろん、行政、国家公務員の仕事に興味のある方の応募も大歓迎です。 インターンシップを通じ進路選択の一助にしていただければ幸いです。				